

2016年4月18日

各位

本店所在地 東京都千代田区麹町 2 - 4
会社名 そーせいグループ株式会社
(コード番号 4565 東証マザーズ)
代表者 代表執行役社長 CEO 田村 眞一
問い合わせ先 執行役副社長 CFO 虎見 英俊
電話番号 03-5210-3290 (代表)

子会社 Heptares 社と Kymab 社、新規抗体薬の研究開発・商業化に関する 戦略的共同研究を開始

当社子会社である Heptares Therapeutics (ヘプタレス・セラピューティクス、以下、「Heptares 社」とヒトモノクローナル抗体の主要バイオ医薬品会社である Kymab Limited (カイマブリミテッド、以下、「Kymab 社」) は、主にかん免疫療法の領域において複数の G タンパク質共役受容体 (GPCR) をターゲットとした新規抗体薬の研究開発並びに商業化に関する提携を結びましたので、お知らせ致します。

がん免疫療法は生体内の免疫システムを活性化することにより、がん化した細胞に対する特異的な免疫反応を引き起こすことでがん治療を行う、近年注目されている治療法です。がん免疫治療薬は、がん治療法に革命を起こす治療とされ、近年、数々のがん免疫治療抗体が承認されています。GPCR は自然免疫系および獲得免疫系の細胞に幅広く発現しており、細胞の遊走運動や腫瘍周辺への動員、活性化、生存延長、増殖や分化の調整といった重要な役割に関与しています。また、GPCR は新規がん免疫抗体治療薬の標的となり得る、重要なチェックポイントに関与していることが知られています。

本提携によって、Heptares 社は StaR® 基盤技術を活用して、安定化した抗原を作製します。Kymab 社はこれら抗原を接種することにより、Kymouse™ と呼ばれる同社のヒト抗体探索技術により、抗体を作製します。Kymouse プラットフォームは有望な薬物特性を持つベスト・イン・クラスの抗体を高確率で見出すことを可能にする技術です。画期的な製品を臨床に進めるために、両社が相補的に有している開発力を活かして有望なリード抗体の開発を推進します。本提携において各抗体の研究開発は共同で行い、開発コストは両社で負担します。

Heptares 社の CEO であるマルコム・ウィアーは次のように述べております。

「GPCR は長きに渡り抗体の創出が困難なターゲットであり、製品化はほとんどされていません。我々の StaR® 技術はがん免疫療法だけではなく、GPCR を標的とした生物学的製剤が極めて有効な幅広い疾患分野において、膨大な創薬機会を生み出すことができるものと信じております。Kymab 社のような世界屈指の抗体研究技術を持つ企業と戦略的な共同研究を開始することで、新規の生物学的製剤で構成された高付加価値のパイプラインを構築し、商業化につなげていくことが可能となります。」

Kymab 社の会長兼 CEO であるデイヴィッド・チズウェル氏は次のように述べております。

「抗体はがんやその他疾患に対する重要な治療薬です。Heptares 社との共同研究により、

複数の GPCR を標的とする安定化された抗原と比類ない多様性を有するワールドクラスの Kymouse プラットフォームを組み合わせることが可能となり、アンメットメディカルニーズに対して非常に選択性の高い、かつ強力なヒトモノクローナル抗体を迅速に得ることが可能となります。」

なお、本件による業績への影響はございません。

<ご参考>

Heptares 社について

Heptares 社は、広範囲のヒト疾患に関連する 375 個の受容体のスーパーファミリーである G タンパク質共役受容体 (GPCR) を標的とした創薬を行う医薬品開発企業です。同社独自の構造ベースドラッグデザイン技術を利用することにより、臨床的な有用性は証明されているものの、これまで創薬が困難であった GPCR を標的とした医薬品の創出が可能となります。このアプローチを使用して、同社はアルツハイマー病、統合失調症、片頭痛、依存症、代謝疾患等の治療法を革新する可能性を有する、画期的なパイプラインを構築しています。

Heptares 社は新規開発候補品や技術提供について、既に Pfizer 社、AstraZeneca 社、MedImmune 社、Kymab 社、MorphoSys 社、Teva 社等をはじめとする大手製薬会社やバイオテクノロジー企業と提携しています。

Heptares社はそせいグループの100%子会社です。詳細については、www.heptares.comとwww.osei.comをご覧ください。

HEPTARESは、EU、スイス、米国と日本における登録商標です。

そせいグループについて

そせいグループはグローバルに医薬品開発に取り組む日本発バイオ医薬品企業です。そせいグループのビジネスモデルの根幹にあるのは、新規・差別化可能な開発品および基盤技術の探索、それらの非臨床・臨床開発の支援、開発・販売提携等を通じて世界中の患者さんに新たな医薬品を届けることです。

詳細については、www.osei.com をご覧ください。

Kymab 社について

Kymab 社は独自の Kymouse 抗体プラットフォームを利用して完全なヒトモノクローナル抗体の研究開発に重点を置く、先進的なバイオ医薬品企業です。

Kymouse™ は、抗原免疫により産生するヒト抗体が最大限に多様化するようにデザインされています。広範かつ多様な完全ヒト抗体から候補を選択することで、希少かつベスト・イン・クラスの性質を有する医薬品候補を見出すことが可能となります。Kymouse™ はこれらの抗体分子が有効性を得るまで自然に成熟させることができ、多大な時間を必要とするその後の抗体改良の段階を避けることが出来ます。Kymab 社は自社の創薬開発にこのプラットフォームを活用するとともに、製薬企業との提携も行っています。Kymab 社は 2010 年に創業し、これまでに 90 百万米ドルのシリーズ B を含む 120 百万米ドルを超えるエクイティファイナンスを実施しています。同社は医薬品の研究開発の成功実績を持つ経験豊富なマネジメントメンバーを有しており、がん免疫療法、血液系自己免疫疾患、感染症、その他の領域で、数多くの治療用抗体の開発プログラムを推進しています。